

# 食支援通信

Vol. 8

食支援研究会

テーマ

食事姿勢と角度計について

## 食事姿勢について

### ◎食事のための姿勢づくりの目的

「最適な姿勢を提供することにより、誤嚥を予防し、食事の自立を通して、健康の回復や豊かな食生活行動につなげていく」

### リクライニング車椅子の姿勢調整

#### ◎リクライニング車椅子での食事摂取が必要な方は？

- ・麻痺や筋力低下で頸部や体幹の保持ができない方
- ・重度の円背や膝の拘縮のためベッドや車椅子で適切な食事姿勢が取れない方
- ・口から食物が零れる方や咽頭へ送り込みに時間がかかる方

#### ◎姿勢調整のポイント！



頸を引いた状態で保持できている。  
(頸から胸骨までは4横指分の間隔)

手が安定している

ティルト+リクライニングで角度調整  
されている

フットレストに足や足の裏が接地  
している

#### ◎当院では…

嚥下障害がある患者様に対しては、言語聴覚士が嚥下機能の評価をし、その方に合わせたリクライニング・ティルト角度を調整しています。車椅子やベッドに装着できる角度計を作成し、病棟全体が統一した姿勢を提供できるようにしています。



食事姿勢を整えることにより①食欲増進、②栄養状態改善、③誤嚥リスク軽減が期待されます。姿勢を整え、食事を楽しむましょう。お困りごとがありましたら、ご相談ください。

掲示許可シール  
貼付スペース